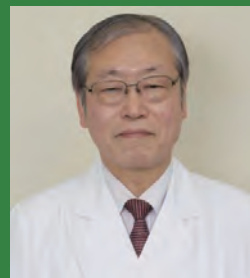


呼吸器外科とは？

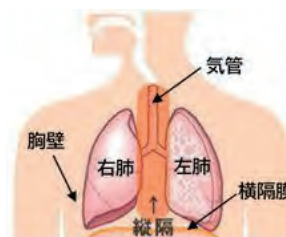
一般的に呼吸器というと肺のイメージが強いと思いますが、呼吸器外科が対象とする臓器には肺をはじめ気管（支）・横隔膜・胸壁などがあり、左右の肺に挟まれた縦隔にある心臓・食道以外の組織も含まれます。それぞれの臓器・組織に神経や血管が複雑に絡み合い多種多様の疾患が生じる領域です。



川崎幸病院 副院長/呼吸器外科医師/部長 **藤野 昇三**（ふじの しょうぞう）先生

対象疾患と治療について

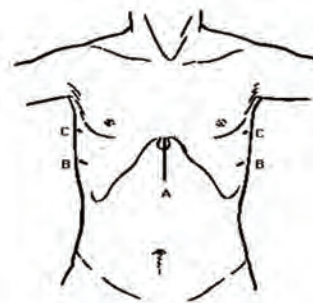
呼吸器外科のメインとなる対象疾患は原発性・転移性肺がんです。インターネットや本などで簡単に情報を取得できるようになった近年でも、「来院したときには既に進行がん」という患者さんは枚挙にいとまがありません。症状があり、かかりつけ医から精密検査を勧められながら放置していた方もおられます。忙しいからこそ検査を受けて「少しの時間を惜しむことでその後の膨大な時間を失うことのないように」し、怖いからこそ検査を受けて「良い結果を知って安心して過ごす」ことをお勧めします。



呼吸器外科の特色

本年4月に開設された新しい診療科ですので実績として掲載するデータはまだありませんが、前々任の滋賀医科大学医学部附属病院では年間200件前後、前任の帝京大学医学部附属溝口病院では年間100件前後の手術を担当してきており、十分な経験を有しています。全体の8割は胸腔鏡（補助下）手術ですが、安全性と確実性を最優先に考え、胸腔鏡手術に拘泥することがないようにしています。

当科独自の手術として「触診を併用した内視鏡手術HATS (Hand Assisted Thoracoscopic Surgery)」が挙げられます。転移性肺がんなどのように両肺に複数の病変を有する患者さんに対して、みぞ落ちを縦に8cmほど切開（A）し、片手を挿入し左右の肺を触診する方法です。触診で確認した病巣は2cm程度の傷であけたポート（B,C）から挿入した器具でモニターを観察しながら確実に切除します。左右同時に可能であり画像で確認した腫瘍を取り残す危険性がなくなります。また術前画像では指摘されなかった病変を触知し切除することもしばしばあります。



呼吸器外科が扱う主な疾患

原発性肺がん、転移性肺がん、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜中皮腫、胸郭変形（漏斗胸、鳩胸）、多汗症など。悪性腫瘍に対しては必要があれば手術後に薬剤による治療も追加施行します。

診療のご案内



社会医療法人財団 石心会
第二川崎幸クリニック
 川崎市幸区都町39-1

受診予約 ☎ : 044-511-2112

電話予約受付時間
 月～金8:00～20:00 土 曜8:00～17:00 日 曜8:30～17:00 祝 日8:30～17:00



第二川崎幸クリニック
 ホームページ